

深呼吸したくなるまち

エコみっけ

ここはエコのど真ん中

発行・編集

見附市 都市環境課

〒 954-8686

新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

TEL : 0258-62-1700

FAX : 0258-62-7062

メール : token@city.mitsuke.niigata.jp

新緑が芽吹く季節となり、春のぽかぽかとした陽気に誘われて外に出たくなるこのごろ。のんびりとぶらぶらするのも気持ちがいいですね。ところが・・・

悲しいことに、

春になると雪が解けて・・・

ごみが出てきます！



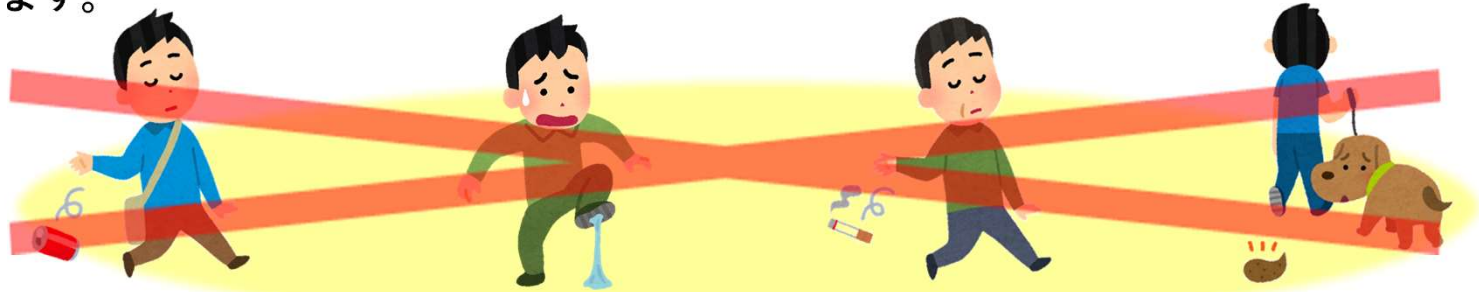
ペットボトルやレジ袋、空き缶、たばこの吸い殻などのポイ捨てやペットのフンを放置することは、まちの景観を損なうだけではありません。

ひとつのポイ捨てされたごみが、雨水により河川へ流出し、海へ。

ひとつひとつは小さなものでも、積もり積もって集まって、マイクロプラスチックなど大きな環境問題となっています。

また、ひとつの小さなごみをそのままにしておくと、“ここはごみを捨てていい場所なんだ”という心理が働いて、どんどんごみを引き寄せてしまうこともあります。

見附市では見附市ふるさと美化条例により、たばこの吸い殻、缶・ビンなどその他の飲料用容器、チューインガムのかみかす、紙くずなどのごみの投棄を禁止しています。



空き缶などの
ポイ捨て

ガムのかみカスの
ポイ捨て

たばこの吸い殻の
ポイ捨て

飼い犬のふんの
放置

たくさんの方がクリーンボランティアを行っています

今年も4月9日(日)に「ふるさと見附を美しく」を合言葉に、クリーン作戦を実施しました。たくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

このような輪をより広げ、ごみを捨てない、ごみを出さないといった意識を大人から子供へ、子供からまたその次の世代へとつないで「美しいふるさと」を守っていきましょう。





飼い犬のフンの始末は 飼い主の責任です！

道路、玄関先、公園などで犬のフンによって迷惑を受けている人は少なくありません。

飼い犬のフンを始末するということは、犬を飼ううえでの大切なマナーの一つです。

犬と飼い主さん。

お散歩コースに住んでいる住民の皆さんとお互い気持ちよく生活できるように、飼い主さんはフンの始末のマナーについて、いま一度考えましょう。

飼い犬の散歩の際には、必ずフンを始末する用具を携帯しましょう



1 トイレットペーパー ビニール袋

ふんを持ち帰るための、ビニール袋は必ず用意しましょう。



2 スコップなど

ふんをつかむための道具もあれば便利です。



3 水を入れたペット ボトル

汚れを流す水を持ち歩きましょう。お散歩道具一式をいれたお散歩バッグがあると良いですね。



オシッコやウンチはおうちで済ませる



散歩に行く前に自宅敷地内を歩かせ、自宅の決まった場所で排泄をしたら褒めて、それから散歩に行くようにするとしつけることができます。

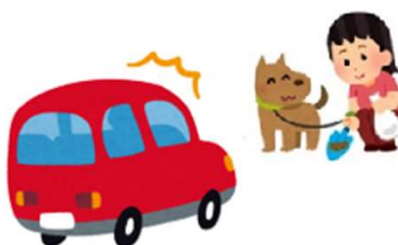
メリット 1

近所迷惑にならない



メリット 2

ふん尿の始末が無いので
安全に散歩ができる



メリット 3

散歩の時間やタイミングが自由になる

外でしか排泄しないワンちゃんだと、どんな悪天候でも、飼い主さんの具合が悪くてもお散歩につれていかなければならず大変ですね。おうちで排泄するようにしつければお散歩が楽になります。

